



平成16年7月号

発行:東地方農林水産事務所 青森地域農業改良普及センタ-

TEL: 0 1 7 - 7 3 4 - 9 9 6 5 FAX: 0 1 7 - 7 3 4 - 8 3 1 1 http://apple.net.pref.aomori.jp/aomori-aec/



1 認定農業者とは?

農業で頑張っていこうする意欲的な農業者を対象に、5年間の営農計画を市町村が認定し、関係機関・団体が連携して支援していこうというものです。

今年度からスタートした「米政策改革大綱」では、稲作収入の安定を図る「担い手経営安定対策」が講じられますが、この対策の加入者要件は認定農業者または一定の要件を満たす集落営農組織となっています。

今後も国の施策は、認定農業者や認定農業者のいる農業経営体に支援を集中させる方向で進んでいますので、認定農業者になることをお勧めします。

2 認定農業者の対象者は?

農業を職業として選択していこうとする意欲ある人が対象となります。現時点で非農家や 第2種兼業農家であってもプロの農業経営を目指す方であれば対象となります。

家族経営協定を締結していれば、家族で複数の者が共同して認定農業者になれます。

3 申請する計画の内容は?

自分の経営の5年後の目標を設定した、農業経営改善計画を市町村に提出します。 以下の大きな4つの目標と、その目標達成のための措置を記載します。

農業経営規模の拡大

生産方式の合理化(新技術・機械の導入など) 経営管理の合理化(複式簿記記帳など) 農業従事の様態改善(休日の設定など)

4 認定の基準は?

下記の3つの要件に当てはまる場合に認定を行います。

計画が市町村の「基本構想」に照らして適切である。

計画の達成される見込みが確実である。

農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために適切である。

については市町村の農業経営の指標(市町村の目標値)と照らし合わせて判断することになります。 については改善内容の整合性、労働力確保の実現性などから総合的に判断します。 については農地集積や作業の効率化に配慮しているか、生産調整対策が考慮されているかどうかなどを判断します。

5 認定後は?

計画が実現できないからといって、認定が取り消されることはありませんが、計画の実現に向けた努力を全く行っていない場合には、「認定の取消」がされることもあります。

5年後は、取組み状況や達成状況を踏まえて、新たに5年後に向けた計画を作成し、再認定を受けましょう。計画が達成されていても、新たな計画を立てて再認定しましょう。

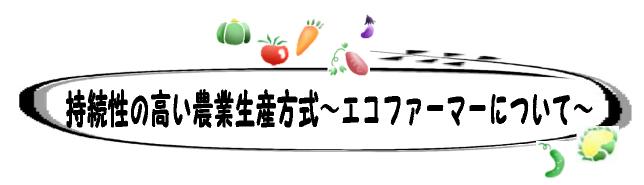
6 主なメリットは?

制度資金の借入...認定農業者であれば有利な条件で借入できます。

経営規模拡大…「青い森農林振興公社」の「農地保有合理化促進事業」を有利な条件で活用できます。

機械施設整備…農業機械・施設のリース料の一部を助成します。

農業者年金制度…月額 4,000 円~ 10,000 円の保険料の補助が受けられます。



県では、「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」に基づき、農業者が策定する「持続性の高い農業生産方式導入計画」の認定を行います。この認定を受けた農業者の愛称名が「エコファーマー」です。

土づくり、化学肥料の低減、化学農薬の低減を一体的に行う農業生産方式です。それぞれの 技術は下記のとおりとなっています。

区分	持続性の高い農業生産方式に関する技術		
堆肥等施用技術	堆肥等有機質資材の施用 緑肥作物の鋤込み		
化学肥料低減技術	作物の根の周辺への局所施肥 肥効調節型肥料の利用 有機質肥料の使用		
化学農薬低減技術	機械除草 除草用動物の利用 生物農薬の利用 対抗植物の利用 被覆栽培 フェロモン剤の利用 マルチ栽培		

5年後を目標年に、現状に比べてより進んだ生産方式等を内容とする「持続性の高い農業生産方式導入計画」を作成し、農林水産事務所(知事)に提出し、認定を受ける必要があります。計画には、この他、農業所得の目標、機械・施設整備計画、資金調達計画等の記載も必要です。

認定を受けた農業者は、生産物の箱等に「エコファーマー」の名称や「エコファーマーマーク」が使用できるので、環境保全農業への取組を消費者にアピールできます。

また、制度資金の貸付や税制制度での特例が受けられます。





今年から東青管内で特別栽培農産物の認証を受けている農家5人が、【**粋生農園「五ツ星」**」というグループをつくりました。メンバーは、トマトの特別栽培を行っている清藤恭史さん、大柳寿憲さん、櫻庭喜代壽さん、矢野孝治さん、そして水稲の特別栽培を行っている佐藤信一さんの5人です。

この【粋生農園「五ツ星」】というグループ名には、

「粋」は純粋の粋で、安全安心をイメージ

「生」は生産の生で、ものをつくるという意味

「**五ツ星**」は5人の集団という意味と、グルメのランクの最上級という2つの意味 以上の3つをあわせて、「いきいきとした5人が安全で安心な最上級のおいしいものをつくる」という意味がこめられています。

これまでは個々に県内のスーパーや直売所などを中心に農産物を販売してきましたが、これからはグループで積極的に県外へ農産物の販売を行っていくとのことです。

平成16年度

青森地区農業改良普及事業協議会では、本年度も 東青そば生産共励会を開催します。ふるってご参加く ださい。

<出品資格及び申し込み等>

- 1 東青管内に在住し、そばの生産に意欲的に取り 組んでいる農家及び生産集団で、出品ほ場が管 内にあること。
- 2 個人の部は概ね 2 0 a以上、集団の部は概ね 2 ha以上の作付け面積を有すること。
- 3 集団の部では作期が異なった場合に複数の出品をすることができます。 なお、個人の部と集団の部の重複出品は認めません。
- 4 出品申込は、市町村関係課に夏そばは7月9日、秋そばは8月12日までに申し込んでください。
- 5 表彰式は11月16日に「平成16年度東青そばフォーラム」と併せて行う予定です。



普及也少多一の平成16年度作物等実証版の設置状況

当普及センターでは、関係機関と連携して、転作作物の本作化や新たな作物の開発及び新技術の導入等による産地づくりや省力化等を目指し、下記の栽培技術普及は・実証は等を設置しています。

今後、これら実証ほ等を活用して現地検討会を行うほか、これらの成果をいろいろな場面で積極的に提供していきます。

作	目	課題名等	市町村
水	稲	県水稲第2種認定品種「青系138号」試作ほ	青森市
		ゆめあかりの技術普及ほ	蓬田村他
			平舘村 平内町
		肥効調節型肥料を用いた水稲直播栽培試験	青森市
畑	作	夏そばの多収技術の実証	青森市
		夏そばの栽培試験	平内町 蟹田町
		大豆のは種時期の検討及び堆肥試験	蟹田町
野	淋	八ウスなすの良品質・多収生産技術の実証	今別町
		トマトの減農薬・減化学肥料栽培の実証	蓬田村
		E M菌の活用によるトマト栽培試験	青森市
		生育診断に基づ〈適正肥培管理を基本としたトマトの高品質生産と省力 体系の確立	D技術 青森市
±J'		夏採りほうれんそうの遮光試験	平内町
		アスパラガス伏せ込み栽培	平内町
		ミニカリフラワー(品種:美里)栽培の実証	蓬田村
		雪中キャベツの有望品種選定試験	蓬田村
		枝豆新品種「あおもり豊丸」の栽培試験	今別町
		四季成りいちご「ペチカ」の良質・多収生産の実証	今別町
果	樹	ぶどうアーリースチューペンの生産安定試験(ストレプトマイシン処理)	青森市
		プル-ペリ-の生育不良樹に対する生育回復試験	平舘村
花	き	デルフィニウムの試作展示	青森市
		切花用葉ボタンの栽植密度試験	青森市
畜	産	トウモロコシに対する化学肥料代替えとしての鶏糞、牛糞モミガラ堆肥詰	式験 今別町